

進めています! 自己改革

今、私たちは、「**農業者の所得増大**」「**農業生産の拡大**」「**地域の活性化**」の3つの目標を掲げ、佐賀農業・地域を支える大きな役割を果たす組織として自己改革を進めています。

自己改革について十分な結果が残せるように、私たちは、その具体策を3カ年計画や各事業年度の計画をたて、組合員の皆さんの声を聴き、真剣に議論して確かな方向性を見出す協同組合としての自己改革を進めていきます。

JAからつが取り組んでいる自己改革の一部を紹介します

JAからつ「佐賀牛産地確立拠点施設」の概要

生産の現状

- 唐津・玄海地区は県内最大の佐賀牛の産地であるが、肥育素牛の自給率は約30%
- 繁殖経営の平均飼養頭数は23頭/戸
- 10頭/戸未満層が約5割を占める構造
- それらの経営では高齢化や後継者不足により繁殖経営の減少が危惧
- 毎月セリの開催が継続できなくなる恐れ

課題

- 危機感をもって産地の維持・活性化を図ることが喫緊の課題
 - 1、繁殖農家の規模拡大
 - 2、肥育農家の一貫経営への取組
 - 3、後継者や新規就農者の確保、育成

- キャトルステーションを整備し、繁殖農家の規模拡大や肥育農家の一貫経営への取り組みが進展
- 今回、新たにトレーニングファームを整備して、後継者の育成や肥育素牛の生産拡大をさらに加速
(建設予定地:唐津市内 約3.5%)

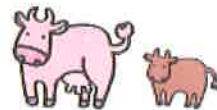
▶ 肥育素牛等を生産、出荷

- ・ 繁殖雌牛の飼養頭数:約250頭規模
- ・ 肥育素牛の出荷:約160頭/年
- ・ 妊娠牛も供給 :約20頭/年



▶ 繁殖農家への支援

- ・ 農家所有の不妊牛の治療
- ・ 優良な血統の受精卵の供給
- ・ 農家所有の雌牛に人工授精や受精卵移植を実施



▶ 就農希望者の研修受入

- ・ 繁殖管理技術の習得
- ・ 就農に向けた支援



目指す姿

唐津産佐賀牛の発展へ

- 最新技術を活用した効率的な飼養管理を実証
- 研修生も先進技術を習得してゆとりある経営を確立
- 地域の繁殖管理・改良の拠点となる

